

地域公共交通の制度財源検討会（第20回）開催のお知らせ

<ハイブリッド開催>

地域公共交通活性化再生法成立（2007）後、また、交通政策基本法制定（2013）から相当経過しています。しかしながら、地域の公共交通は充実するどころか衰退が顕著となっています。加えて、交通分野での解決を議論するのみならず、人口減少や新技術の台頭、さらには COVID-19 の世界的流行などの社会全体にわたる問題があります。これらを背景として、従来から進行している公共交通の利用者数減少、「新しい生活様式」の定着による移動量の減少により、交通事業者が経営破綻の危機にさらされるという事態に至り、結果として住民の足がなくなるという「交通崩壊」の危機となることを多くの専門家、関係者が危惧しています。

本検討会では、地方都市や大都市圏縁辺部の地域公共交通サービスに焦点を当て、民間の自由競争と独立採算を基本とする日本の常識（世界の非常識）を制度的に見直すことを目標にして議論を深めることが必要と考え、2019年3月より、これまで19回の議論を重ねてきました。

この「常識」の見直しにはこれまでの検討会の経過が示すように多岐にわたる論点がありますが、わが国の特色である、1世紀を超えて続けられている定期券、それによる割引制度の問題があります。これについて近年、民間事業者が負担する高率の通学割引に関して負担のありかたの議論が行われています。いうまでもなく、これは公共交通・運賃政策のみならず、文教政策、社会政策として行われてきた歴史があり、公的支援、補助のあり方にも大きく関連するもので、実態の正確な把握と理解に基づく議論が課題と言えるでしょう。

そこで第20回では、通学定期への支援の実態の調査研究を進められてきた、（一社）交通環境整備ネットワーク 入江 聡 氏 から調査結果とその分析について報告をいただき、定期券と支援制度の状況を理解することとします。さらに、公共交通の負担の在り方について詳しい東京女子大学教授 竹内 健蔵 氏を討論者としてお迎えして議論の充実を図り、引き続き検討会にご参加の皆様と意見交換を行うことといたしました。

コロナ緊急事態は終了となりましたが依然として不安定な毎日が続いています。どうかご自愛の上お過ごしください。皆様には、引き続き「制度財源検討会」に奮ってご参加をお願いしたいと思います。

NPO 法人 エコエネルギーによる地域交通システム推進協会（AREEV）理事長
人と環境にやさしい交通をめざす協議会（交通まちづくりの広場）代表幹事
竹内 佑一

- 地域公共交通の制度財源検討会 第20回
- 日時 2023年10月21日（土）14:00～16:00（予定）
方法：オンライン（Zoom）および会場参加によるハイブリッド開催
- 会場 関西大学東京センター（東京駅八重洲北口）サピアタワー 9階
アクセス：<https://www.kansai-u.ac.jp/tokyo/map.html>
- 報告者 入江 聡 氏（（一社）交通環境整備ネットワーク）
題目 『地域鉄道の通学定期への支援について』
- 討論者 竹内 健蔵 氏（東京女子大学現代教養学部 教授 博士（商学））
- 参加費 会場参加：1,000円（資料代） オンライン参加：無料
- 申込先 イベント受付ツール「イベントレジスト」経由で、会場参加 またはオンライン参加を選択の上、お申し込み願います。
⇒ <https://eventregist.com/e/1vNflJVRgG7i>
会場参加を選択された方には後日、会場内への入構方法等についてご案内します。
また、お申し込みいただいた方全員に、当日使用するURL 等をお伝え（2日前予定）します。

<問合せ先> 人と環境にやさしい交通をめざす協議会（交通まちづくりの広場）
⇒ yasashii.transport@gmail.com 小田部（コタベ）

(参考 開催経過)

- 第1回 2019年3月22日「地域公共交通の制度改革の方向～欧州から学べる事学べない事」
関西大学教授 宇都宮 浄人氏
- 第2回 2019年4月26日「地域公共交通イノベーションの課題」
国土交通省総合政策局公共交通部交通計画課長 蔵持 京治 氏
- 第3回 2019年6月24日「路線バス事業の持続可能性の確保に向けて」
(株)みちのりホールディングス代表取締役 CEO 松本 順 氏
- 第4回 2019年8月2日「水戸地域公共交通網の動向と路線バス再編の課題」
水戸市市長公室交通政策課長 須藤 文彦 氏
- 第5回 2019年10月25日「広島市における公共交通再編の取組と今後の課題」
広島電鉄株式会社取締役交通政策本部長兼人材管理本部長 仮井 康裕 氏
- 第6回 2019年11月22日「四国の公共交通ネットワークの持続に向けて」
四国旅客鉄道株式会社取締役総合企画本部副部長 長戸 正二 氏
- 第7回 2019年12月19日「都市政策に合う公共交通の官民分担型上下分離の考え方と可能性」
富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科教授 金山 洋一 氏
- 第8回 2020年2月10日「課税自主権活用可能性と持続可能な都市交通経営」
京都府立大学公共政策学部 教授 川勝 健志 氏
- 第9回 2020年8月29日「コロナ対応を通してみる欧州の公共交通運営制度」
ウィーン工科大学交通研究所 研究員 柴山 多佳児 氏
- 第10回 2020年10月31日「これからの公共交通政策：鉄道政策を中心に」
神戸大学名誉教授 正司 健一 氏
- 第11回 2021年2月27日「コロナ禍における新しい都市交通の展望—フランスにおける上下分離と社会運賃」
ビジネスコンサルタント ヴァンソン 藤井由美 氏
- 第12回 2021年3月27日「これからの公共交通政策：鉄道政策を中心に」
九州産交バス株式会社共同経営準備推進室 今釜 卓哉 氏
- 第13回 2021年5月15日「コロナ禍で存続が危ぶまれる地方交通の抜本的救済策について—官民の役割分担から—」
両備ホールディングス株式会社 代表取締役会長 小嶋 光信 氏
- 第14回 2021年7月3日「ITデータが導く新しい地域公共交通の姿を考える」
東京大学大学院情報理工学系研究科付属ソーシアル ICT 研究センター准教授 伊藤 昌毅 氏
- 第15回 2021年9月4日「地域公共交通の社会的インパクトから見た地域公共交通計画の作成と運用の重要性」
復建調査設計株式会社東京支社第二技術部社会基盤計画課
広島大学大学院先進理工系科学研究科 特任助教 吉野 大介 氏
- 第16回 2021年11月12日「地方都市再生を交通から考える～なぜ小山市はバスに力を入れるのか～」
栃木県小山市都市整備部 技監 浅見 知秀 氏
- 第17回 2022年4月9日「どうすれば地域公共交通にお金を出していただけるのか？
～自分たちが変わらなければとても請求できない～」
名古屋大学大学院環境学研究科 附属持続的共発展教育研究センター教授 加藤 博和 氏
- 第18回 2022年10月31日「地方公共団体の課税自主権と地域公共交通を支えるための税制に関する議論の経過」
滋賀県 総務部 税政課長 澤本 尚人 氏
- 第19回 2023年6月17日 「地域交通のリ・デザイン」
国土交通省 総合政策局 地域交通課長 倉石 誠司 氏